

第8回 海軍道路の桜並木に関する懇談会 議事要旨	
日 時	令和4年7月8日(金) 16時00分～18時00分
開催場所	中屋敷地区センター 小・中会議室
出席者	参加者：12名 事務局：都市整備局 上瀬谷整備推進課
議 題	1 前回の懇談会での主な意見とまとめ 2 C区間の考え方(案)について 3 意見交換
概 要	<p>議題の内容を事務局から説明した後、意見交換をおこなった。</p> <p>(主な発言要旨)</p> <p>【C区間の考え方(案)について】</p> <p>○自治会の会員に6月下旬から7月5日までの期間でアンケートを実施した。質問内容は、C区間のソメイヨシノを植え替えるとしたらどういうかたちが良いかを選択式としたアンケートとした。</p> <p>C区間が全長1.5kmあるうちの1kmが我々の自治会区域。結果として、「現在と同様の桜」という希望が多かった。</p> <p>生活の折々で四季を感じられる、西日を閉ざしてくれる、夏の炎天下に日陰を作ってくれるなど、桜があることによるメリットが住民に評価されていた。個人的にはハナミズキが良いと思っていたが、住民意向としては桜並木の再生に、ある程度は合意が得られるのではないかと思う。</p> <p>○東側歩道は、車の出入りも考慮してミラーをつけるなどの工夫もした上で、桜を植えるということで良いのではないか。</p> <p>西側歩道は狭いので、桜を植えるのは厳しいような気もする。瀬谷西高校の皆さんが花を植えているので、その花を卒業後にどうしてほしいのか、花博まで維持するのか、瀬谷西高校の皆さんの意向を聞きながら、花を植えるという選択肢もあると思う。廃校になった跡地がどうなるのかにも関係がありそうだ。</p> <p>○西側歩道は、瀬谷西高校の皆さんのプロジェクトが続くのであれば、花を植える植栽が良いと思う。東側歩道は、西側にヨウコウが維持されるのであれば、同じヨウコウが良いのではないか。</p> <p>○東側歩道はヨウコウとコシノヒガンが検討されているが、現状のソメイヨシノは近年の台風で住宅の壁にのしかかるような被害が出ていることもある。</p> <p>前回エドヒガンを提案したのは、てんぐ巣病がまったくみられない。住宅地の近くに植栽する、住民の安心、安全のことを考えるとコシノヒガンよりも適性度は高いのではないか。色は淡いピンクだ。</p> <p>○西側も東側も歩くが、道路の幅員構成は変更できないと考える。東側歩道の方が、利用者が多い。</p> <p>東側歩道は桜が散る時は、沿道の皆さんがしっかり掃除をしてくれている。</p>

	<p>今後もお願いするしかないと思う。</p> <p>○C区間はA、B区間と違い、車の出入りが多い。西側歩道は、低木と提案されているが、低木であっても車の視界を考えると危険性がある。多年草などの植栽をしていくのが良い。</p> <p>○西側歩道は、低木を植えるという市の考えで良い。 東側歩道は幅員6m程度あり、自転車も歩行者も通れる。利用する人が圧倒的に多い。東側歩道は桜でも結構ではないか。</p> <p>○西側歩道は幅員2.5m、2.75mなければ低木も植えられないという話だったのが、市の見解で低木を検討しても良いということになり、前提が変わった。 私はツツジ等、何らかの花を植えたいと思っている。東も西も花に彩られた環状4号線としたい。 東側歩道は、A、B区間がコシノヒガンなので同じ樹種としたい。</p> <p>【C区間の考え方（案）のまとめ】 意見交換を行った結果、C区間については、資料2の内容で概ね合意。</p> <p>【新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（案）について】（横浜市から） これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」等も踏まえて、新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（案）を作成し、8月に市民意見募集を行っていくと説明。</p> <p>【海軍道路の桜並木に関する懇談会について】 前回の懇談会において、A、B区間の方向性が固まり、今日でC区間についても方向性が概ねまとまったため、懇談会は今日を以って閉会とさせていただきます。</p>
資 料	<p>第8回 海軍道路の桜並木に関する懇談会 配布資料</p> <p>資料1 : 前回の懇談会での主な意見とまとめ</p> <p>資料2 : C区間の考え方（案）について</p>